

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-55℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	
	電 力	— W	特性インピーダンス	50Ω (0 ～ 1 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 9 mΩ以下 外部コネクタ 9 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 500Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比	周波数 0.045 ～ 1 GHzにて測定する。	VSWR 1.1 以下	○	—
	挿入損失	周波数 ～ GHzにて測定する。	dB以下	—	—
機械的性能	単体挿抜力	φ0.91 ^{+0.005} ₀ の鋼製ピンで測定する。[HRM側]	差込力 N以下	—	—
	引抜力 1.5 N以上		○	○	
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 N以下 引抜力 N以上	—	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 16 mΩ以下 外部コネクタ 16 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ～ 500 Hz、片振幅 0.75 mm、 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ 部の引っ張り強度	N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ 部の破損がないこと。	—	—
環境的性能	温湿度サイクルの 耐湿性	温度 +25 ～ +65 ℃、湿度 80 ～ 96 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 100 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → — → +85 → — ℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
△	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
0					
備考 RoHS適合品			承認	IJ.MITANI	06.07.06
			検 図	KY.SHIMIZU	06.07.05
			担 当	TO.KATAYAMA	06.07.05
			製 図	YK.SUGIYAMA	06.07.05
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC4-009425-40		
HRS	製品規格表		製品名	HRMJ-UMJ (40)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL311-0164-6-40	△ 1/1